

寄せ鍋



河内長野市立千代田中学校

生徒指導だより

令和6年4月5日



☆ご入学おめでとうございます☆

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。わたしは生徒指導主事の益本裕子です。

みなさん！！生徒指導だよりのタイトルの「寄せ鍋」と聞いて、まず何を思い浮かべますか？

「美味しい」「あったか〜い」「食べたいなあ」「人が集まる」などではないでしょうか？

私がこのタイトルを付けている理由は、“自分の個性(持ち味)を出して、お互いを認め合って欲しい”という思いからです。

寄せ鍋には、お肉や魚、野菜が入っています。お肉といっても、豚肉・鶏肉などがあり、魚といってもタラや鮭、野菜といっても、白菜・ねぎ・にんじん・しいたけ・えのき・春菊…などなど、それにプラスしてくずきりや、豆腐も入ります。

要するに、寄せ鍋には入れる具材に決まりはない！！それぞれの具材が「自分のええところ」を出し合い、それが混ざりあって寄せ鍋という料理ができあがります。

だから、クラスも学校も一緒！！「みんなのええところ」を出し合い、楽しんでいこうや！！

寄せ鍋

=

学校&クラス



具材

=

個々のええところ

今回は、もう少し寄せ鍋についての由来&私の思いを書きたいとおもいます。

私は生徒指導の担当になる前は学級担任をしていました。そのときのクラスは、最初トラブルが多く、自分を出すことができない集団だったので、私はみんなの本当の笑顔を見ることができませんでした。しかし、協力し合う取り組みや、行事を重ねていくうちに、相手の気持ちを聞いて「相手を理解しよう」「受け入れよう」という雰囲気クラスが変



わっていきました。すると「自分のことをわかってくれる」「理解してくれる」という安心感から、

本当の自分、そして一人ひとりの「ええところ」を出してもいいんや!!と思えるクラスができました。

その結果、卒業式では先輩の先生から、「“みんな違って、みんないい”一人ひとりが人との違いを自分の持ち味として、自信を持って生きることが大切。自分も他人も共に尊重し、互いに力を合わせて共に生きる力を3年間で身につけた。」と、言ってもらい、私もその言葉を聞いて「その通り!!」と感じたので、これからの千代中生にも、先輩たちのように、多様性を認め合い、一人ひとりの違いを受け入れ、仲間を大切にできる学校やクラスを作ってほしいという思いから、『寄せ鍋』というタイトルにしました。



千代田中学校には、『みんなをまとめることが得意な人。』『陰で支えて協力してくれる人。』『一つのことをコツコツ粘り強く頑張れる人。』いろんな仲間が集まっています。

どのタイプが良いとか悪いではなく、それぞれの「ええところ」を見つけて生かし、「安心・安全・あったかい学校」をみんなと一緒に作っていくことを私はめざしています！！

人間は一人ひとり顔や性格が違うように、全く同じ人はいません。しかし、心があるということは同じです。嬉しいことや悲しいこともあると思いますが、一緒に笑顔があふれる学校を築いていきましょう!!よろしくお願いします。

☆ 保護者のみなさまへ ☆

お子さまのご入学おめでとうございます。お子さまが希望に満ち溢れて入学されて来られたのと同じように、私もこれから始まる1年がどんな年になるのかを楽しみにしています。左にも書いているように、“一人ひとりの持ち味を出し合い、多様性を認め合い、安心・安全に通える学校”を子どもたちと一緒に作っていきたくて考えております。

お子さまの中学生という、多感な時期に関わらせていただけることを嬉しく思っています。いろんなことがあると思いますが、心に寄り添い、子どもたちと一緒に成長していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。